

平和を願って

主任司祭 吉池 好高

1月31日の信徒総会をもって、わたしたちの高円寺教会も2016年の新たな歩みを開始いたしました。神のいつくしみの特別聖年の今年、将来の不安に脅かされている現代世界の上に、神のあわれみといつくしみを祈り求めて、歩んでまいりましょう。

そのためにも、ミサの中で祈られている祈りが、わたしたちの心からの祈りとなることを願いたいと思います。主のいのりにおいて、わたしたちは神の子イエス・キリストと結ばれて、神のいつくしみの御心がこの地上に実現するよう祈り続けています。

「御心が天に行われるように、地にも行われますように」。すべてのいのちの源である神の御心は、ご自分がお造りになられたすべてのいのちあるものが、そのいのちを精一杯輝かせて生きることです。すべてのいのちは糧を必要とします。「わたしたちの日ごとの糧を今日もお与えください」。自分たちのいのちを支えるために他の者たちが必要としている糧を奪い合ってはならないのです。あらゆる争いの源となる生存競争から解放されて、はじめてわたしたちは感謝のうちに日ごとの糧を味わうことのできるのです。すべてのいのちの与え主である神が結んでくださったいのちの絆のうちに日ごとの糧を分かちあうことによって、わたしたちは真の平和を味わうことが出来ることでしょう。

平和こそがすべてのいのちが必要としている日ごとの糧を生み出す基盤です。競争相手としてではなく兄弟の絆に結ばれたものたち同志として互いに気遣いあうことによって、この地上に真の平和が実現することを願いあいましょう。それが如何に困難な道であっても、互いに手を取り合って、その困難を乗り越えて行くための協力を強め深めて行きましょう。「主の祈り」に加えて司祭はみなを代表して次のような祈りをささげます。「いつくしみ深い父よ、すべての悪からわたしたちを救い、現代に平和をお与えください。あなたのあわれみ支えられ、罪から解放されて、すべての困難に打勝つことが出来ますように。わたしたちの希望、救い主イエス・キリストが来られるのを待ち望んでいます」。最終的に平和をもたらすお方への希望の祈りです。